

県民参加事業

1 概要

「ねんりんピックはばたけ鳥取 2024 県民参加基本方針」に基づき、「ようこそようこそ鳥取県運動」を全県展開し、県民一丸となり、鳥取県らしい心温まるおもてなしで選手団を歓迎した。

2 県民参加基本方針

第 36 回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取 2024）に向けて、多くの県民が参加し、地域や世代を超えてお互いを認め合い、交流を深めるとともに、選手、監督、役員等全国から来県する方々（以下「県外参加者」という。）を心のこもったおもてなしでお迎えし、鳥取に来て良かったと思われる大会となるよう、県民参加の取組を推進する。

(1) 活動目標

- ア 多くの県民が選手、役員、観客、ボランティア等、様々な形で参加する。
- イ 県外参加者を心のこもったおもてなしで迎える。
- ウ 県民と県外参加者が、地域や世代を超えた交流を深める。
- エ スポーツへの関心を高めることで、大会終了後の高齢者スポーツ・文化の振興につなげる。

(2) 活動の進め方

- 県内市町村、関係機関・団体等と連携し、次の取組を行う。
- ア ねんりんピックはばたけ鳥取 2024 の趣旨・内容を広く県民に周知し、大会への参加意欲を高める。
- イ 県民一人ひとりが心をこめて、県外参加者を歓迎する体制を整える。
- ウ 鳥取の歴史、文化、遺産、自然、食等のあふれる魅力を県民自らが伝え鳥取ならではのおもてなしで迎える。
- エ 多くの県民が参加し、地域や世代を超えた交流を深められる様々な機会を設ける。
- オ ねんりんピックはばたけ鳥取 2024 の普及・啓発を通じて、高齢者がスポーツ・文化に親しむ機会を設ける。

3 大会ボランティア

令和 5 年 6 月 2 日に「ねんりんピックはばたけ鳥取 2024 ボランティアセンター」を立ち上げ、ボランティアの募集を開始し、令和 5 年 7 月よりボランティア活動を開始した。

(1) 募集期間

令和 5 年 6 月 7 日(水)～令和 6 年 5 月 31 日(金)

(2) 募集要件

県内に在住、在勤又は在学しており、申込時に 15 歳以上の方（中学生は除く）。なお、申込時に 18 歳未満の方は、保護者の同意が必要。

個人・グループ（団体）を問わず応募可能。

(3) 報酬等

- ア 報酬、交通費の支給なし
- イ ボランティア活動中の傷害保険に加入
- ウ ボランティア用ポロシャツ・帽子・ナップサックを支給

(4) ボランティア登録者数

1,536 名（個人：307 名、団体：65 団体・1,229 名）

(5) 活動実績

幅広い世代が参加し、PR やおもてなし活動など事前活動に延べ 475 名、大会期間中は延べ 1,387 名の計 1,862 名が活動した。

ア 事前 PR 活動

県内イベントにおいて、PR グッズの配布やニュースポーツ体験の運営補助等を実施した。

イ おもてなし研修会

(ア) 令和 5 年度（4 回）

大会に関する理解を深めるとともに、ボランティア精神やおもてなしの心構えを学び、ボランティアのやりがいや楽しみ方を知ることが目的に研修を実施した。

・講師：鳥取情報文化研究所代表 植田 英樹

(イ) 令和 6 年度（3 回）

来県される選手・関係者を温かく歓迎するため、ボランティア活動の心構えや気持ちの良い対応を学ぶことを目的に研修を実施した。

・講師：P-Create 代表 松下 香寿美

ウ あいサポーター研修

多様な障がいの特性を理解し、障がいのある方が困っている場面を見かけたら声をかけ手助けを行うことを目的に研修を実施した。

- エ おもてなし企画の立案・実践
来県される選手・関係者を温かく歓迎するためのミーティング（全11回）を実施して、おもてなし企画を立案し、以下のとおり実践した。
- (ア) ボランティア活動時に着用するポロシャツのデザイン（鳥取らしさや選手への歓迎の気持ちを表現）を考案した。
- (イ) 選手ひとり一人への記念品製作
種目別大会缶バッジを作製し、保育園や高等学校、障がい者・高齢者施設、大会ボランティア等をはじめ幅広い世代の県民からのメッセージを添えて、大会前に選手団に送付した。
- (ウ) 歓迎パネルの製作
全国から来県する選手団を歓迎するため、県内観光地・特産品を青谷和紙を用いたたちざり絵で表現し、主要駅・空港（5か所）に設置した。
- オ 大会運営補助
大会期間中、県内各地式典・イベント会場等で幅広い世代が活動した。

- (ア) 主要駅・空港での歓送迎
(イ) 式典・イベントの運営補助
(ウ) 来場者の受付・案内
(エ) 弁当の配布・回収
(オ) 会場内美化活動
(カ) 来場者に対するアンケート調査の実施

【活動期間：令和6年10月18日(金)～22日(火)】

※事前活動については、令和5年7月以降随時実施

活動場所	参加延べ人数
事前活動 (県内各地イベント会場等)	475
ヤマタスポーツパーク (鳥取県立布勢総合運動公園)	984
とりぎん文化会館 (鳥取県立県民文化会館)	56
エースパック未来中心 (鳥取県立倉吉未来中心)	32
鳥取県立米子コンベンションセンター	87
JR 鳥取駅	34
鳥取砂丘コナン空港	58
JR 米子駅	41
米子鬼太郎空港	81
鳥取県立美術館	14
合計	1,862

4 全市町村リレーイベント

大会に向けた地域の機運向上を図り、大会の盛り上げに繋がるよう、愛媛県から引き継いだ大会旗を“バトン”としてつなげ、市町村長による大会旗披露に併せて大会PRを実施した。

日程	市町村	併催イベント名
令和5年12月10日(日)	三 朝 町	かがやく子どもフェスティバル
令和6年 2月3日(土)	智 頭 町	智頭町雪まつり
2月25日(日)	大 山 町	なかやま公民館まつり
3月3日(日)	若 桜 町	わかさの健康医療を考える集い
3月10日(日)	日 吉 津 村	日吉津村芸能大会
3月17日(日)	伯 耆 町	溝口春の彼岸市
3月21日(木)	湯 梨 浜 町	ゆりはま文化大学閉講式
3月24日(日)	日 南 町	日南伝統芸能祭
3月30日(土)	北 栄 町	茶臼山桜まつり
	南 部 町	さくらまつり
3月31日(日)	境 港 市	境台場公園桜まつり
4月7日(日)	倉 吉 市	くらよし春まつり
4月12日(金)	江 府 町	パレット奥大山（ローソン 江府インター店）オープンイベント
4月24日(水)	琴 浦 町	東伯総合公園クリーンアップ活動
4月28日(日)	米 子 市	ダンススポーツプレ大会
4月29日(月)	鳥 取 市	鳥取市花のまつり
	八 頭 町	ふなおか竹林まつり
5月12日(日)	岩 美 町	浦富海岸健康マラソン大会
6月9日(日)	日 野 町	鵜の池マラソン大会

5 クリーンアップ大作戦 ～きれいな鳥取でおもてなし～

大会の開催機運を盛り上げるとともに、全国から来県される選手団を気持ちよくお迎えするため、主要駅やイベント会場周辺等において、競技形式で楽しみながらゴミ拾いを行う「県民参加型のクリーンアップイベント」を実施した。

(1) 日時

令和6年9月14日(土) 13:00～14:45

(2) 場所及び参加人数

- ・鳥取駅北側エリア 85 チーム (232 人)
- ・倉吉博物館～白壁土蔵群エリア 30 チーム (82 人)
- ・米子駅前周辺エリア 44 チーム (111 人)

6 花いっぱい運動

県内の7校の高校生が栽培した飾花プランター(約5,000株)を総合開会式会場・総合閉会式会場や各イベント会場、主要駅・空港などに設置したほか、小学校放課後児童クラブ、各市町村の商工会女性部や老人クラブなどが生育した飾花を各市町村の交流大会会場等に設置した。

【協力高校】

鳥取県立鳥取湖陵高等学校
鳥取県立鳥取緑風高等学校
鳥取県立智頭農林高等学校
鳥取県立倉吉農業高等学校
鳥取県立米子高等学校
鳥取県立米子白鳳高等学校
鳥取県立日野高等学校

7 「高校生おもて^{なし}梨映像」の制作

県内高校生が、県内3圏域の「選手へおすすめしたいととりの食・モノ・場所・人」等の紹介動画を制作し、大会会場等や主要駅・空港に設置する歓迎案内所付近で放映した。

(1) 協力高校

学校法人鳥取家政学園 鳥取敬愛高等学校
学校法人鳥取学園 鳥取城北高等学校
学校法人鶏鳴学園 青翔開智高等学校
学校法人松柏学院 倉吉北高等学校
学校法人湯梨浜学園 湯梨浜学園高等学校
学校法人翔英学園 米子北高等学校
学校法人翔英学園 米子北斗高等学校
学校法人米子永島学園 米子松蔭高等学校

(2) 放映箇所

ア 大会会場等

ヤマタスポーツパーク(鳥取県立布勢総合運動公園)、とりぎん文化会館(鳥取県立県民文化会館)、エスパック未来中心(鳥取県立倉吉未来中心)、鳥取県立美術館、鳥取県立米子コンベンションセンター

イ 主要駅・空港

鳥取砂丘コナン空港、米子鬼太郎空港、JR鳥取駅、JR倉吉駅、JR米子駅

8 ご当地横断幕の作製

総合開会式での選手団入場行進時に使用する「各都道府県・政令市67団体のご当地横断幕」を鳥取市内の小学校の生徒が作製した。

【協力小学校】

鳥取市立湖山小学校
鳥取市立湖山西小学校
鳥取市立末恒小学校
鳥取市立世紀小学校

9 市町村歓迎ボードの作製

各市町村の地元住民が描いた名所・名産品や選手団への歓迎・応援コメントを添えた選手団歓迎ボードを製作し、総合開会式会場に掲出した。

10 ようこそようこそ鳥取県運動推進補助金

大会に向けた県民や企業・民間団体等による地域の盛り上げや来県選手団等へのおもてなし活動を支援し、大会開催機運の醸成を図った。

(1) 補助概要

補助率 10/10、補助限度額 100 千円

(2) 執行実績

107 件

(3) 主な取組例

- ・選手団への歓迎横断幕の作製
- ・ペタンクやeスポーツなど大会開催種目体験会の開催
- ・ねんりんピックにちなんだ書道コンクールの開催
- ・大会会場周辺のクリーンアップ活動
- ・商店街アーケードのLED照明や大型ビジョンによる大会PR ほか